



(2号周堤墓)



(1号周堤墓)

世界遺産の登録を目指している

キウス周堤墓群の魅力

今月の特集は、縄文時代に造られた、
「キウス周堤墓群」の魅力についてお伝えします。

キウス周堤墓群とは？

キウス周堤墓群は、市の北東にある馬追丘陵の西の麓、標高15～20メートルの傾斜の緩やかな斜面上に縄文時代後期後半（紀元前1,200年頃）に造られた大規模な集団墓です。

地面に円く大きく掘り、掘り上げた土を周りに積み上げることでドーナツ状の周堤が造られます。その円い区画の中にたくさんのお墓を造るものを周堤墓といいます。

キウス周堤墓群の大きさは？

キウス周堤墓群は、広さ約4.9ヘクタールの指定地内に8基の周堤墓が存在します。周堤を含む直径は30～75メートル、周堤上面からくぼみの底までは0.5～5.4メートルあります。

2号周堤墓を造るときに積み上げられた土の量は、推定で最大3,400立方メートルにも達します。

キウス周堤墓群のくぼみは？

くぼみの底には、複数の墓穴があり、立石（石の墓標）もあります。市指定文化財の石棒は4号周堤墓周堤の外縁の墓穴に

アイヌのチャシ（砦）と考えられた周堤墓

研究者がキウス周堤墓群を初めて見たのは、明治から大正時代のことです。大きくくぼみと高い土手が並ぶ巨大な遺跡の正体は、当時の研究者にも分かりませんでした。

形が似ているアイヌのチャシではないかと考えられ、昭和5年には「キウスのチャシ」として史跡に仮指定されました。

副葬されていたものです。もしかすると、キウス周堤墓群の墓穴は、くぼみの中だけではなく、周堤の上や外縁まで、たくさんあるのかもしれない。

周堤墓は、葬送や祭祀（豊穡への祈りと感謝）という重要な儀式に関係する当時の社会組織を示すものとして、とても重要です。

中でもキウス周堤墓群は、現在も地表面からはっきりと確認できる大きさの周堤墓が群集しており、代表的な存在です。

キウス周堤墓群は、縄文固有のお墓？

周堤墓は縄文文化固有のお墓ですが、本州以南では見つかっていません。つまり、周堤墓は北海道の縄文固有のお墓であるとも言えます。

さらに、千歳を中心とした地域に全道の約8割が集中していることから、周堤墓は千歳で生まれたのではないかという説もあります。

キウス周堤墓群の周辺には、次ページの図のとおり、遺跡が多く残っています。沼や川、森が広がり、食料となった動植物が豊かな場所だったのでしょう。

左の写真は、昭和10年に遺跡のそばに立てられた標柱と説明板です。（『千歳・恵庭・広島三村銘鑑録』（1953）より）



⑤ キウス2号周堤墓

内側のくぼみの底から周堤の上までの高さは、最大5.4mあり、造成による土の移動量が最も多い周堤墓です。

周堤の一部（1号墓側）が低くなっており、出入口が明瞭に分かります。

昭和40年（1965）7月には、周堤墓の中心付近で約48mの発掘調査が行われ、楕円形の墓穴が1基見つかりました。

この墓は、8個の石によって囲まれるという特徴的なものでした。

墓の周りからは、土偶の破片が出土しました。また、道路の拡幅によって露出した周堤の断面が観察されました。



キウス周堤墓群に説明板を設置しました

埋蔵文化財センターでは、キウス周堤墓群を見学するときのために、駐車場から周堤墓までの見学路と1号・2号周堤墓に6枚の説明板を設置しました。

この説明板は、①国史跡キウス周堤墓群、②周堤墓の見学ポイント、③キウス周堤墓の立地、④史跡指定地周辺地区の調査、⑤キウス2号周堤墓、⑥キウス1号周堤墓です。

高さ150cm、幅60cmと小型ですが、カラー写真や図をたくさん使って、周堤墓群を分かりやすく解説しています（冬期間は、取り外します）。



⑥ キウス1号周堤墓

外形では、2号・4号とともに最大規模の周堤墓で、ほぼ完全な状態で遺されています。内側のくぼみは、中心部分が盛りあがっています。

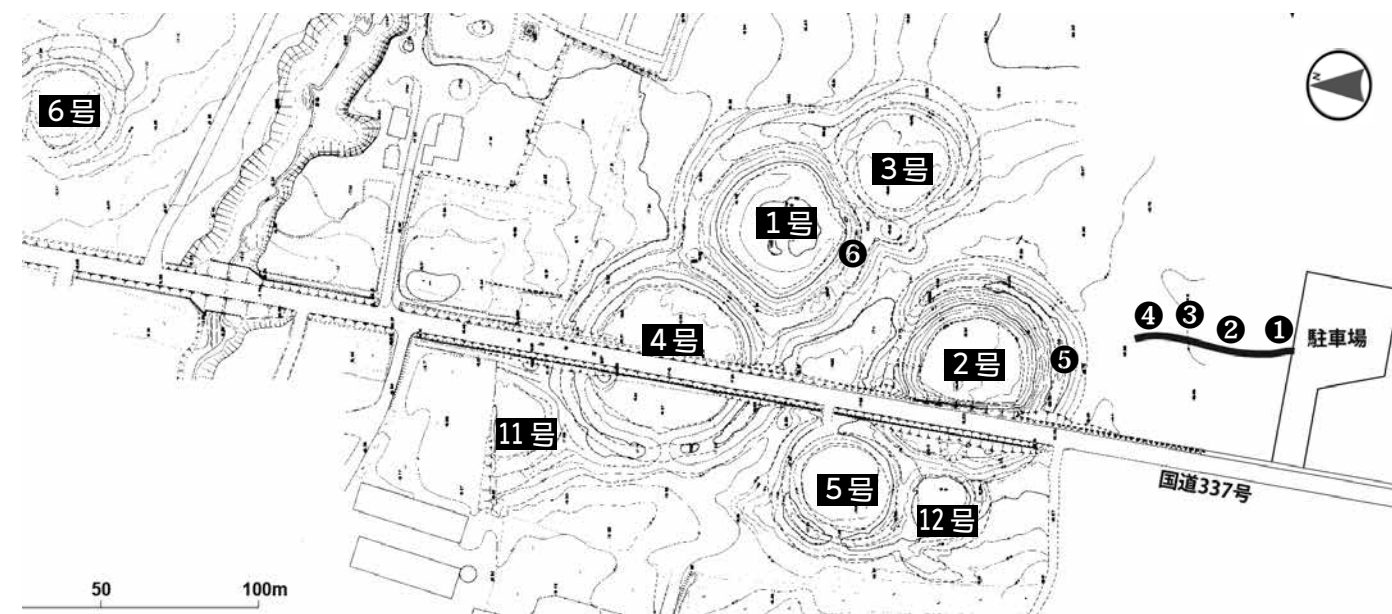
昭和39年（1964）7月に、千歳市教育委員会によって、はじめて発掘調査が実施されました。

1号周堤墓の中心から周堤にかけて、幅1～2m、長さ33mの細長い溝を掘り、67mを調査しました。

その結果、中心付近で5基の墓穴が見つかりました。墓穴の形は、楕円形あるいは円形で、深さは、60cmほどでした。第4号墓からは、墓標と考えられる立石が見つかりました。



キウス周堤墓群の配置図および説明板の位置図



③ キウス周堤墓群の立地

日本海と太平洋を結ぶように広がる石狩低地帯の東縁に、平均標高100m未満の小高い馬追丘陵が南北に横たわっています。

馬追丘陵から石狩低地帯に流れ出る河川に沿って、旧石器時代にはじまる人々の活動が多く、多くの遺跡として残されています。

丘陵の西の低地帯一帯は、オサツトー（長都沼）やマオイトー（馬追沼）などの湖沼を含む広大な湿地帯となっていました。

キウス周堤墓群は、馬追丘陵と湿地帯の間（標高15～20m）にあります。

湖沼や湿地は干拓され、現在はほとんど残っていません。



キウス周堤墓群パンフレット

埋蔵文化財センターは、キウス周堤墓群を紹介するパンフレットを作成しました。

写真や図をたくさん使って、8基の周堤墓の特徴や発掘調査の歴史、出土した石棒（市指定文化財）などを分かりやすく解説しています。

このパンフレットは、歴史の学習に役立つよう、市内小学校に配布しています。

また、郷土の歴史や遺跡を学ぶ市民の方にも活用いただけるように、市の観光振興課や教育委員会生涯学習課、千歳駅観光案内所、ミナクルなどにも置いてあります。



また、自然遺産は、青森県と秋田県にまたがる白神

また、自然遺産は、青森県と秋田県にまたがる白神



縄文文化とその価値を世界に発信するために、現在、世界遺産の登録に向けて取り組んでいます。

世界遺産は、人類の宝

世界遺産は、人類の宝

日本の世界遺産一覧表

物件名	所 在	登録年月	区 分
1 法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	平成 5 年 12 月	文化遺産
2 姫路城	兵庫県	〃	文化遺産
3 屋久島	鹿児島県	〃	自然遺産
4 白神山地	青森県・秋田県	〃	自然遺産
5 古都京都の文化財	京都府・滋賀県	平成 6 年 12 月	文化遺産
6 白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県・富山県	平成 7 年 12 月	文化遺産
7 原爆ドーム	広島県	平成 8 年 12 月	文化遺産
8 厳島神社	広島県	〃	文化遺産
9 古都奈良の文化財	奈良県	平成 10 年 12 月	文化遺産
10 日光の社寺	栃木県	平成 11 年 12 月	文化遺産
11 琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	平成 12 年 12 月	文化遺産
12 紀伊山地の霊場と参詣道	和歌山県・三重県・奈良県	平成 16 年 7 月	文化遺産
13 知床	北海道	平成 17 年 7 月	自然遺産
14 石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県	平成 19 年 7 月	文化遺産
15 小笠原諸島	東京都	平成 23 年 6 月	自然遺産
16 平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群	岩手県	〃	文化遺産
17 富士山－信仰の対象と芸術の源泉	静岡県・山梨県	平成 25 年 6 月	文化遺産
18 富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	平成 26 年 6 月	文化遺産

お問い合わせ

埋蔵文化財センター

☎・FAX(24) 4 2 1 0

Eメール maibun@city.chito-se.hokkaido.jp



展示室の様子

埋蔵文化財センターは、2 万年にわたる千歳の歴史を語る文化財を研究し、大切に保管する施設です。市内の遺跡から出土した文化財を多くの方々に見ていただく展示室もあります。また、土器・石器づくり、火おこしなど、古代人の生活を体験する、たくさんの方々の学習会を開催しています。

世界遺産の登録をめざして

北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群

